

シラバス参照

科目名	地域と生産
配当年次	1年次
開講期間	前期
単位数	2
担当教員	石井 龍太(イシイ リョウタ)
期間・曜日・時限・教室	前期 月曜日 4時限 17-402

※	
授業の目的・目標	<p>【授業の概要】:本講義では様々なテーマを取り上げ、「地域」と「生産」を核として論じて行く。人間が生活する上で必要とする物品は、地域ごとに個性的な方法を用いて自給生産されることもあれば、様々な手段で外部から持ち込まれ、地域の生産に影響することもある。そのあり方からは、地域と時代の個性が垣間見えてくる。</p> <p>【授業の目的】:講義では、「比較」の視座を重視し、世界と日本の「地域と生産」の共通性と個性を理解できるようになることを目的とする。</p> <p>【習得できる力】: ①.知識 ⑤.論理的思考力 ⑥.問題解決力 ⑩.生涯学習力</p> <p>【授業の到達目標】: 講義を通じ、世界とつながった「地域」のあり方を「生産」の視点で深く理解し、幅広い教養と、地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力を習得することを全体の到達目標とする。</p> <p>【実務経験と授業内容との関連】:なし</p>
準備学習等の指示	<p>この授業は1回の授業につき3時間の準備学習が必要です。</p> <p>課題の提出は、Teams、WebClass等のLMSを用います。</p>
講義スケジュール	<p>■1回目 【テーマ】「地域」とは？「生産」とは？ 【到達目標】 本講義のキーワードである「地域」と「生産」の意味について考え、理解することを目標とする。 【準備学習】 複数の辞書を当たり、「地域」「生産」について検索し自分なりの理解を身に付けておくこと。</p> <p>■2回目 【テーマ】 煙草 現代社会と喫煙 【到達目標】 現代社会における煙草の生産、喫煙習慣の基本的事項と位置づけについて、深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■3回目 【テーマ】 煙草 喫煙の発祥と拡散 【到達目標】 喫煙が、発祥地である南米アンデスからどのように世界各地に拡散していったのか、広がった先々でどのように受容されていったのかを理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■4回目 【テーマ】 煙草 喫煙の東アジア史 【到達目標】 喫煙が、最終到達地である東アジアにおいてどのように受容され独自化していったのか、世界各地の喫煙習慣と比してどのように位置付けられるのかを理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■5回目 【テーマ】 塩 世界製塩史 【到達目標】 塩が人体にどのような働きをなしているのか、世界のどこでどのように生産されているのかについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■6回目 【テーマ】 塩 日本製塩史 【到達目標】 製塩に適さない環境にある日本列島で、どのように製塩がなされて来たのか、地域とのかかわりを踏まえながら深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■7回目 【テーマ】 塩 中印製塩史 【到達目標】 古代から国家形成が進んだ中国、インドを対象に、塩を巡る政治、社会の動きについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■8回目 【テーマ】 馬 馬と人間 【到達目標】 野生動物であった馬が、いかにして人間と出会い、様々な利益をもたらす家畜として位置付けられたかについて理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■9回目 【テーマ】 馬 馬のアジア史 【到達目標】 中国を中心に、アジア史に馬が登場しどのような影響を及ぼしたのかについて深く理解することを目標とする。</p>

	<p>【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■10回目 【テーマ】 馬 馬の西洋史 【到達目標】 西洋社会を中心に、馬がどのような影響を及ぼし、また今日の様な形で残存しているかについて理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■11回目 【テーマ】 豚 豚と人間 【到達目標】 主要家畜のひとつである豚がどのような特徴を持ち、人間社会とどうかかわって来たのか、政治、社会、宗教といった観点から深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■12回目 【テーマ】 豚 西洋社会と豚 【到達目標】 世界第2位の豚生産地である西洋において豚がどのように位置付けられてきたのかを深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■13回目 【テーマ】 豚 東アジアと豚 【到達目標】 豚飼育の先進地であり続けてきた中国と、その影響下にあった日本、琉球諸島の豚飼育の歴史について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■14回目 【テーマ】 豚 身代わり豚と化ける豚 【到達目標】 現在の日本の領域内で最も豚飼育の歴史が長い琉球諸島において、豚を巡るどのような観念が存在したのかについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■15回目 【テーマ】 まとめ 【到達目標】 講義内で扱った様々なテーマを通して、地域とは、生産とは、資源とは、人間とは何かについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p>
教科書	特に指定しませんが、講義中に紹介する参考文献を積極的に参照して下さい。
参考文献	ヴォルフガング・シヴェルプシュ 1988年『楽園・味覚・理性 嗜好品の歴史』法政大学出版局 石井龍太 2020年『ものがたる近世琉球』吉川弘文館
授業の方法	<p>授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反転授業 ・実習、フィールドワーク <p>なお、本授業では授業の双方向性と皆さんの学びを可視化するために、Teams等でのチャット機能やFormsを活用した授業を実施します。</p>
成績評価方法	<p>【評価方法】 平常点（授業への参画、受講態度）と試験・レポートで評価します。</p> <p>【割合】 平常点50%、試験・レポート50%</p> <p>【基準】 授業内容に関する深い理解を獲得することが出来たか。</p> <p>【フィードバック方法】 なお、課題等については、 ・実技・実習後、全体に向けてコメントします。</p>
オフィスアワー	開講日の昼休み
居室	17-512
ホームページ	城西大学経営学部 石井龍太研究室
その他特記事項	【ナンバリング : GEO101J】
添付ファイル	